

2011年 8月20日
No 1133号
働くルールの確立で
人間性の回復を

明治乳業争議団 ニュース

発行 明治乳業争議団
連絡先 〒272-0015
千葉県市川市鬼高2-6-2
☎・Fax 047-332-5698
E-mail mjnyu88sgd@wing.ocn.ne.jp
HP 明治乳業争議団 ⇒ 検索

拡大する放射線汚染に広がる不安

子どもたちの安全と未来のために

8月18日の早朝、テレビニュースで「福島県で検査をした子どもたち45%から、放射性ヨウ素による甲状腺被曝が確認されたことを明らかにし、安全基準値以下だから心配することはない」と政府発表を報道していました。本当に心配することは要らないのでしょうか。

参議院で参事として意見を述べた「崎山比早子医学博士」の講演会が先日、千葉県の四街道市で行なわれ、筆者も参加した。



崎山博士の講演で一番印象に残ったのは放射能に安全基準(数値)は無いという言葉だった。それは「確率的影響」と聞きなれない言葉で表現されたとえどんなに小さな値であろうと放射能が人体に与える『障害』、その確立は低くはな

定を民間の調査機関に依頼し、その結果を公表しています。測定(セシウム)137.1 34、ヨウ素)結果を見て本当に驚きました。「0」という所はわずか14箇所、数値のもっとも高い三郷市早稲田では、91万9100ベクレル/m²、次に高い松戸市が4

でも決して「0」ではない。ということであつた。そして、それは世界の科学者の中では、常識でもあると報告されました。「直ちに人体に、健康に影響ある数値ではありません。」心配することは無用とばかりのこのニュースを何度見聞きしたことだらう。しかし、そのうしたニュースとは裏腹に、先日、「放射能防御プロジェクト」という民間団体が首都圏132箇所、放射能採取、放射能測定を民間の調査機関に依頼し、その結果を公表しています。

*放射能防御プロジェクトの公表記事より転載

参考：チェルノブイリの区分

148万Bq/m ² ~ (第1)	強制避難区域	直ちに強制避難、立ち入り禁止
55万5千Bq/m ² ~ (第2)	一時移住区域	義務的移住区域
18万5千Bq/m ² ~ (第3)	希望移住区域	移住の権利が認められる
3万7千Bq/m ² ~ (第4)	放射線管理区域	不必要な被ばくを防止するために設けられる区域

5万5845ベクレル/m²、そして3万7千ベクレル/m²以上の数値は35箇所となっています。参考までに、左記の囲み記事をご覧ください。私たちの身の回りは、文字通り危険と同居するという環境になっています。詳しくは、インターネットで「放射能防御プロジェクト」を検索してください。民間団体がここまで調査をしているのに、政府や東電は何を考えているのでしょうか。本当に怒りを覚えます。

「サンデー毎日」の報道によると、雪印メグミルクは放射能検査をしているが、国の暫定基準値以下としてそのまま販売。株式会社 明治(旧・明治乳業)、森永乳業は検査すらしていません。私たち争議団は、株主・消費者として、「すべての会社が検査を実施し」、その数値を公表するよう求めています。明治乳業はかつて植物性油脂を牛乳に混入させた「インチキ牛乳事件」をはじめ、不祥事が絶えず、改善などを求めた従業員を「イジメ・差別」の労働者管理で、長期にわたって労働争議が起り、今でも争議が続いて国民消費者の信頼を失っています。「株式会社 明治」は、失った信頼を取り戻すためにも、国民・消費者の要求に応え、放射能検査を実施し、その数値を率先して公表すると同時に、長期にわたって続く労働争議の解決を行なうべきではないでしょうか。

福島県

検査した子どもたち 45%が甲状腺被曝

毎日学校給食で牛乳を飲む子どもたち。本当に安全だろうか。

牛乳は本当に大丈夫でしょうか



明治乳業争議団と私

福岡地区争議団共闘会議
議長 武田徹二さん



掴め明乳！ 勝利の女神の後ろ髪！ 時はいま

明乳争議団福岡の仲間(4名)とは1994年以来の付き合いになる。その仲間たちも今は全員が会社を定年退職してしまった。立ち上がった当初仲間4人は明乳福岡工場の頼もしい中核労働者として、職場の労働条件の守り手として福岡工場内に睨みを利かせていた。私たち福岡争議団とは、4人が「市川」の仲間の闘いに呼応して立ち上がり、福岡争議団の一員になってからの戦友だ。

明乳福岡工場は間もなく閉鎖。乳業部門の大合理化計画のもと県南熊本寄りの八女に九州工場を新設・移転することになった。その時も福岡工場の労働者は素晴らしい闘いを展開し、数々の目を見張る成果を引き出した。中心にいたのが「4人」であつたことは言うまでもない。

早いもので私の所属していた国金発展会は争議終結からすでに3年を超えたが、明乳福岡への支援と共闘は国金争議解決後も一緒にやっている。

明乳争議団には争議可決のチャンスが、①中労委段階、②東京地裁段階、③東京高裁段階とあつたが、そのすべてを会社の責めで逃してしまつた。さらに会社は明治製菓との統合(09年4月)段階においても解決チャンスがあつたが会社はそれを逃してしまい、折角の統合・合併メリットを出し切らず、売り上げの停滞、利益の低迷で色あせたものにしてしまつた。

明乳争議団は64名という大陣容、果敢なしかも27年という長期粘り強い闘いの全国展開。正義が組合側になれば絶対展開し得ないものであつた。

この事件、客観的にはとつと解決時期に入っているが、会社の対応の不味さからいまだに解決していないのは残念である。いまは勝利の女神の後ろ髪に手がかかりさえすれば事態は一挙に解決に向かうはずである。それだけの素晴らしい戦績を残している。勝利への確信を持って前進してほしい。たしかに我が方も今は苦しいが、相手はもっと苦しいはずである。

それにしても、いま取り組んでいる団体署名は必ず100%やり遂げてもらいたい。また計画された行動計画は一つひとつ息を抜かず成功させてほしい。私も福岡で一兵率として最後まで頑張りたい。

訃報



全国争議団副団長・大阪争議団副団長
大井 修さん逝去

大井さんは、在職中から職場はもちろん、地域でも、常にあらゆる運動の中心となつて闘い続けて来られた。2002年に定年退職してからも「この争議が解決した時が本当の定年や」といいながら頑張り続けて来られたが、二年半の闘いの末他界されました。大井チャン、本当にご苦勞様でした。残された皆で一日も早く「本当の定年」を迎えて報告に出来るよう頑張ります。長い間お疲れ様！もう頑張らなくていいから、ゆっくり休んで下さい。

全国争議団副団長、大阪争議団の副団長として文字通り明乳争議の要であつた大井修さんが、6月27日ついにかえらぬ人となつてしまいました。

東京地評争議支援総行動

9月15日(木) 16:55~17:20
明治ホールディングス社前

(準)メイン行動に
ノポリ旗を掲げて
ご支援をお願いします!



団員の横顔



北海道のほぼ中央、競走馬の育成で知られる早来町の出身。岩見沢の高校を卒業して1962年4月に明治乳業市川工場に入社。配送職場に配属になり、あまりにもひどい労働条件の中での仕事に、持ち前の正義感から職場代議員等を重ね、若干21歳で支部青年部役員となり、部長として活動した。本人の話では、「十九」と云う名前は、昭和19年1月1日に生まれたので自分の誕生日を忘れないようにと父親が名付けた」とエピソードを語ってくれています。愛称は、「トクさん」と慕われ、たまに、おいしい「お茶」などコマージュが入る。定年退職後は、年金者組合明治乳業支部の書記長を創立時から務めており、争議団活動と合せて地域活動の中心の役割を果たしています。また、地域の卓球サークルは全国大会に参加するほどの強豪チームとなり、その先頭に立って今も頑張っています。

市川工場事件申立人 大井十九一さん

第24回都労委「会社側証人への反対尋問」 関わりの無い証人の無責任な証言内容 「報告書・観察記録」は改ざん・ねつ造されたものか

労働組合の役員が会社と一緒に…「脅し」

8月4日、石川及び福岡工場の申立人(4名)に対する会社の個別あら捜し立証への反対尋問が行われました。

申立人が在職中の石川 実も明らかにされた。今工場勤務した経歴もな 回の「観察記録」を作成した主任は、当時組合本部の統制委員をしており、当時の主任から話を聞いて 申立人が昇格差別を質すて勤務ぶりを確認し、 べく苦情処理委員会に申「低査定は妥当である」と して立てを行ったことに対し、「お前、苦情処理での運用は公正に行われて 文句を言っているのか、いい加減にしるよ、統制責任な証言を行った。し 委員会にかけろぞ。」と 脅しをかけていた事実も 一切話を聞いていない事 明らかにされました

「報告書・観察記録」の いい加減な記載の事実も 明らかに

大阪工場会社側証人に「会社にいない時間」のミ 対する反対尋問でも、報 ス事例が記載されている 告書記載の当日は「公休 事実を当時の手帳から明 日」で会社にいなかった らかにしています。今回 事実や、既に退社して の福岡工場ミス事例の場



合でも、「主任から注意させたばかりである。」との記載が誤りである事実を、申立人の手帳を示して明らかにしました。何と、1月31日は日曜日で製造していなかったのです。

怒りの「陳述書」を提出！

事実を否定する証言に 申立人自ら怒りの追及

当時の班長も会社提出の観察記録を見て 怒りの「陳述書」を提出！

事実を否定する証言に 申立人自ら怒りの追及

て、煩雑な作業内容を図示して実態を明らかにし て追及し、当該申立人も、 夜勤の場合は、当日の製 造責任者(職制)ではな いかと追及しましたが、 現在本社の品質保証部長 の任にある証人は、聞き 取れない口調で否定した。 当時、一緒に働いていた 班長は、今回提出された 「観察記録」を見て陳述書 の提出を決意してくれた。 「仕込み作業の煩雑な作業 実態の中で、自らも含む 職場の誰もが経験してい



る。申立人らに特別ミスが多いことはなかった。」さらに、『製品チェックは生産管理の夜勤担当者の仕事であり責任転嫁もはなはだしい。・・・会社にとつて都合のいい人間が優先される人事考課の決定は、公然とは言わな いが誰もが認めていたし、上司も「仕事は関係ない。」と公然と言っていた。』と も記載しています。班長の勇気ある協力に、申立人らは頭の下がる思いで います。と、勝利 命令を勝ち取る決意を新 たにしています。



再雇用者には働きの悪いのがある 熟達者いふさわしい仕事を与えよ

多くの人が仕事をなく「苦痛」

食品一般ユニオンと(株)明治 団交速報
第3回団体交渉が8月8日、両国・ 関東支社で開かれ前回から持ち越 してきている課題について質疑 が交わされました。

食品一般ユニオン VS (株)明治 団交速報

再雇用者の業務 当ユニオンは、40年に 改善に関する件で わたって営業畑で働き、 は、当ユニオン組 係長職まで勤めた社員に、 合員(関東支社市 わずかな「切り抜き」だけ 乳統括部)に与え とは、どういう経験、ど られている仕事は ういう適正なのか具体的 な説明を求めまし たが、会社からの 適切な回答はあり ませんでした。 再雇用者業務の 問題は、一個人だ けでなく多くの高 齢者が仕事を求めて「苦痛」 を感じています。これは 会社として再雇用者への 業務方針が確立されてい ないことに起因しており、 「高齢者雇用安定法」にも 反する行為です。



食品一般ユニオンが提 出している団交要求のう ち数項目は、並行して進 められている、地域労組 こうとうの対明治団交 渉の要求と同じものとなっ ており、協力・共同のもの に行なわれています。 ユニオンの団交に先立 ち8月3日、労組こうとう も明治と団交を開き、 重層的・連続的に要求解 決の運動を展開していま す。なお、労組こうとう の団交には共闘会議議長 の松本さんが、全労連代 表として参加されており 心強いかがりです。

時間もしないで終るもの であり、団体交渉要求で は「経験と適正を生かし、 過度な手待ち時間のない 仕事」を求めています。 これに対して会社は、 「経験を配慮、適材・適所 に配置している」などと回 答しました。

この他、賃金・労働条件 などの改訂時協議の要求



については時間がなく、 次回持越しとなりました。

労組こうとう団交に 松本議長参加

争議団と支援共闘会議 は、明治HD第2回株主 総会(6月29日)に、株 主54名の賛同を得て5本 柱51項目の「事前質問書」 を提出。事前に明治HD 総務グループ長に 質問要旨の説明も 行っていました。 しかし、総会答弁 は、「都労委での審 査・判断を待つ」と 形式的答弁に終 始した争議問題と、 続発する不祥事問 題に対する弁解的 な答弁だけでした。

特に、大震災か らの復旧・復興に 関わる質問や、東 電福島第一原発事 故による深刻な放 射能汚染から、牛 乳・乳製品の「安 全・安心」を守る 緊急課題の質問。 さらに、危機存亡 の淵にある酪農地帯・酪 農民への救援に関する質 問に答えられない経営陣 問。また、外圧だけでは 説明のつかない株価低迷 の原因と経営責任の問題 や、中国市場への参入 (新工場＝牛乳・乳製品)

許されない！ 株主総会 「事前質問書」への回答拒否

問題など等、まさに、経 営姿勢の根幹に関わる質 問には、一切の回答を拒 否したのです。さらに、 議場発言は一人2点以内 に限定し、賛同株主では 小関団長の質問し か認めず、しかも 発言途中で打ち切 るなどの異常な運 営でした。特に、 チェリノブイリ原 発事故で多くの子 供たちが甲状腺ガ ンを発症し、その 原因が牛乳汚染に よる内部被爆だっ たとの報道を指摘 して、「牛乳の独 自の安全検査を実 施すべき」との質 問には、「行政機 関の発表に基づい て安全確認してい る」と拒否する等、 企業体質の異常さ を改めて鮮明にし たのです。 株主の質 問に答えられない経営陣 か！ 疑問が 深まる株主総 会でした。

